



# 第1章 調査の概要

## 1 調査の目的

- (1) 市民の健康状態や健康づくりの現状などを把握する。
- (2) 「ふくしまし健康づくりプラン2018」の目標達成状況を評価し数値目標などの見直しを行い、次期計画「(仮) ふくしまし健康づくりプラン2023」策定の資料とする。
- (3) 「福島市食育推進計画」における評価指標の現状把握のための資料とする。

## 2 調査客体と調査方法

### 《一般》

対 象	18歳から84歳（年齢基準日：令和3年4月15日）
抽出方法	地区(支所)別・各年齢層(5歳階級)・性別に偏りが無いように人数を按分し、住民基本台帳から無作為抽出した 5,823名
調査方法	郵送調査法
調査期間	令和3年6月11日～7月30日 送付・回収

### 《学童思春期》

対 象	小学生・中学生・高校生（在籍日：令和3年4月1日現在）
抽出方法	市内の全小・中・高校を対象に学年組を統計的に指定した 2,589名
調査方法	各学校長宛に配布依頼し、留置き回収 小学1～4年生は保護者記入依頼（オンライン回答併用） 小学5年生以上は本人記入
調査期間	令和3年6月～7月 配付・回収

## 3 調査項目

\*項目で●（黒丸）は、今回の調査で新規に加えた調査項目内容

区分	質問項目	回答	一般	学童思春期		
				小1～4年生	小5・6年生	中・高校生
属性	性別	選択	○	○	○	○
	住所	選択		○	○	○
	年齢	記入	○			
	学年	選択		○	○	○
	勤務形態・就業時間	記入	○			
	家族構成	選択	○			
体格	身長・体重	記入	○			○

区分	質問項目	回答	一般	学童思春期		
				小1～ 4年生	小5・ 6年生	中・高 生
体格	体格指数 BMI	計算	○			高
	ローレル指数	計算				中
	自分の体型イメージ	選択				○
検診 状況 受診	最近1年間の健診・検診の有無	選択	○			
健康観	自分は健康だと思うか	選択	○			○
活動	健康維持のために心がけていること	選択	○			
	ある場合の内容	複数選択	○			
	ない場合の理由	複数選択	○			
	普段の運動状況、頻度 (小中高では授業以外の運動)	選択	○	○	○	○
	ある場合 1日あたりの時間	選択	●			
	フレイルの認識	選択	●			
	1日にテレビ・DVD・パソコン、スマホ を利用する時間	選択		○	○	○
	そのうちスマホ・タブレットを利用する 時間	選択		●	●	●
食生活	1日3食食べているか	選択	○	○	○	○
	朝食摂取	選択	○	○	○	○
	家族と一緒に食事	選択		○	○	○
	ゆっくりよく噛んで食事をしているか	選択	●			
	塩分摂取に気を付けているか	選択	○			
	塩分の多い食品の摂取頻度(3項目)	選択	●	●	●	●
	栄養バランスに気を付けているか	選択	○			○
	主な食品の摂取頻度(12項目)	選択	○	○	○	○
歯と口腔	現在の保有歯数	記入	○			
	歯みがきの回数	選択	○	○	○	○
	歯肉の状態	選択	○			○
	咀嚼の状況	選択	○			
	かかりつけ歯科医の有無	選択	●	●	●	●
休養	最近1か月間のストレス感	選択	○			○
	ある場合 ストレスの解消	選択	○			○

区分	質問項目	回答	一般	学童思春期		
				小1～ 4年生	小5・ 6年生	中・高 生
休養	睡眠による休養	選択	○			○
	就寝時刻・起床時刻の規則性	選択		○	○	○
	就寝時刻・起床時刻	選択		○	○	○
	よく眠れているか	選択		○	○	
飲酒	飲酒状況	選択	○	○	○	○
	ある場合 飲酒頻度・量	選択	○			
	ある場合 初めて飲んだ年齢・きっかけ・ すすめた人	選択		○	○	○
喫煙	喫煙状況	選択	○	○	○	○
	ある場合 初めて吸った年齢・きっかけ・ すすめた人	選択		○	○	○
	ある場合 禁煙したいと思うか	選択	○			
	ある場合 禁煙外来情報の知識	選択	●			
	家庭で喫煙している人	選択	○	○	○	○
	ある場合 吸う人	複数選択		●	●	●
	受動喫煙の有無	選択	○	●	●	●
	ある場合 受動喫煙を受けた場所	複数選択	○	●	●	●
	たばこの健康への影響	複数選択	○		●	○
食育	食育についての関心の有無	選択	○			
	安全な食品の選び方、調理方法	選択	○			
	農業体験の有無	選択	○			
	郷土料理や作法を受け継いでいるか	選択	●			
大震災の 東日本 の影響	放射線の影響に関する不安の有無	選択	○			○
	ある場合どのようなことか	複数選択	○			○
ウィルス 新型 コロナ 感染症	コロナ禍以前との生活の変化の有無と程度 (9項目)	選択	●			
	取り組んでいる感染対策	複数選択	●			

区分	質問項目	回答	一般	学童思春期		
				小1～ 4年生	小5・ 6年生	中・高 生
キ ャ プ シ ャ ル	地域活動（町内会、地域行事など）の参加の有無	選択	○			
	ある場合どのような活動か	複数選択	●			
	地域の人とのかかわりの程度	選択	●			
	地域の助け合いの程度	選択	●			
幸せに過ごすために必要なもの（自由記載）		記入	●			
健康に過ごすために必要なもの（自由記載）		記入		●	●	●

## 4 集計方法

学童思春期のデータ入力にはAI-OCRを利用し、集計は株式会社サーベイリサーチセンター東北事務所が実施。一般は入力・集計ともに同社が実施した。（学童思春期の対象者については福島市に在住と答えた者のみ集計）

## 5 報告書の見方

- (1) n (number of cases) は比率算出の基数であり、100%が何人の回答に相当するかを示す。
- (2) 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。したがって、単一選択式の質問においては、回答比率を合計しても100.0%にならない場合がある。また、回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える。